

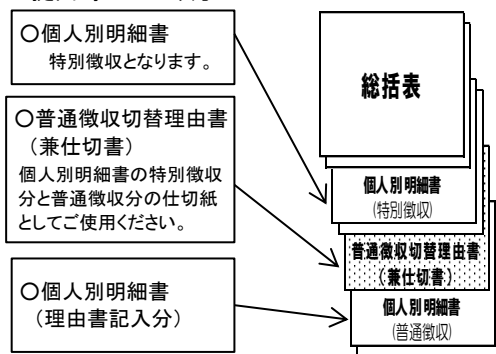
普通徴収切替理由書（兼仕切書）

市区町村名		指定番号	
事業者名			
符号	普通徴収切替理由	人数	
普A	総従業員数が2人以下 <small>（下記「普B」～「普F」に該当する全ての（他市区町村分を含む）従業員数を差し引いた人数）</small>	人	
普B	他の事業所で特別徴収（乙欄適用者）	人	
普C	給与が少なく税額が引けない（年間の給与支給額が100万円以下）	人	
普D	給与の支払が不定期（例：給与の支払が毎月ではない）	人	
普E	事業専従者（個人事業主のみ対象）	人	
普F	退職者、退職予定者（5月末日まで） 及び休職者	人	
合 計		人	

【普通徴収切替理由書の記入提出方法】

- 1 普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、給与支払報告書と併せて普通徴収切替理由書を提出してください。提出がない場合、原則として特別徴収となります。
- 2 該当する理由の右側「人数」欄に人数を記入し、個人別明細書の摘要欄に理由に該当する符号（普A～普F）を記入してください。記入後、理由書の合計人数と個人別明細書（普通徴収分）の枚数が一致することを確認してください。
- 3 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切書として普通徴収の方の個人別明細書の上に付け、総括表や他の個人別明細書を下記「提出時のつづり方」の順に重ねて提出してください。
- 4 普Bは他事業所が支給する給与から住民税が特別徴収される方（乙欄適用者）が対象となります。
- 5 普Fの退職予定者がいる場合、個人別明細書の摘要欄に退職予定日を記入してください。また、休職者とは、休職により4月1日現在で給与の支払を受けていない場合に限ります。
- 6 eL TAX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の個人別明細書の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力し、摘要欄に理由に該当する符号（普A～普F）を記入してください。（この場合、普通徴収切替理由書の添付は不要です）

≪提出時のつづり方≫



≪個人別明細書記載例≫

該当する符号を必ず 記入してください。		
(摘要)		
普F		
平成××年3月31日退職予定		
生命保険料の 金額の内訳	新生命保険料 の金額	円
退職予定者がいる場合、 退職予定日を記入してください。		円

※点線で切り取ってご利用ください。